



### 3. 教育課程

# 全学共通科目について

「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、「共生」「健康・スポーツ」「キャリア」「外国語」「日本語」「人文」「社会」「自然」「日本文化」「情報」「ともいき実践教育」の区分で構成されています。

これらを通して、共生（ともいき）と勤儉誠実の考え方、及び幅広い教養を身につけます。

## 有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、証明書を持参の上、履修登録開始日から履修登録確認・訂正最終日(16:30)までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じた単位が認定されます。

授業科目名	単位数 (上限)	評価	認定基準
総合英語 I／総合英語 II／ 総合英語 III／ 英会話 I／英会話 II／英会話 III	2	認定	実用英語技能検定試験 2 級 TOEFL iBT 42 点以上 72 点未満 TOEIC L&R 550 点以上 785 点未満 TOEIC S&W 240 点以上 310 点未満
	4	認定	実用英語技能検定試験準 1 級 TOEFL iBT 72 点以上 95 点未満 TOEIC L&R 785 点以上 945 点未満 TOEIC S&W 310 点以上 360 点未満
	6	認定	実用英語技能検定試験 1 級 TOEFL iBT 95 点以上 TOEIC L&R 945 点以上 TOEIC S&W 360 点以上
中国語 I／中国語 II	2	認定	中国語検定試験 3 級以上
韓国語 I／韓国語 II	2	認定	韓国語能力試験 2 級以上
フランス語 I／フランス語 II	2	認定	実用フランス語技能検定試験 3 級以上
ポルトガル語 I／ポルトガル語 II	2	認定	外国語としてのポルトガル語検定試験 (APLE) 準初級以上 ブラジル教育省による外国人のためのポルトガル語検定試験 (CELPE-Bras) 中級以上

- 注意 1. この制度の運用は内規により行います。  
2. 既に単位認定された科目についての申請は認めません。  
3. 英語部門は、既にこの制度による単位認定を受けた資格より上級の資格を取得した場合、再度申請することができます。ただし認定単位数の合計は上級の資格による単位数を上限とします。

# 経営学部科目について

---

以下の科目は履修登録上や成績評価、授業の方法等について特徴のある科目です。履修登録前に十分な理解をしておいてください。

## ①「共生人間論実習」

この科目は2年次に大学指定の施設において4日間の実習をすることにより単位が認定されます。2年次春学期ガイダンスにおいて実習先等の詳細を連絡しますので、このガイダンスには必ず出席し、必要な手続きをしてください。

この科目は次のとおり実施されます。この全てに出席し課題等を提出する必要があります。

実習前ガイダンス → 実習参加 → レポート提出

## ②「ビジネススペーシック」「ビジネス教養」

「ビジネススペーシック」「ビジネス教養」では、就職活動に必要な基礎知識・基礎学力などを習得します。1年次～3年次に至るまで、計画的・段階的に知識・技能を身につけます。

## ③「スチューデントスキル」

1年次春学期の「スチューデントスキル」は学籍番号によってクラス編成されます。「スチューデントスキル」は、大学での授業に必要なスタディスキル（読む・書く・話す・発表する・情報収集する等の能力）を高めることをねらいとし、共通の到達目標を設定して展開されます。

## ④「基礎演習」

1年次秋学期の「基礎演習」は、自分の将来に対する意識を明確にし、春学期の「スチューデントスキル」で学んだ大学での勉強方法や研究に対する意欲を2年次からの「総合演習」へと繋ぐために、自分で選択した演習担当教員の指導を受けます。

1年次当初より、履修する演習担当教員の授業や研究内容等を十分に考え、演習教員を選択してください。

## ⑤「総合演習Ⅰ～V」

この科目は、1年次秋学期、2年次秋学期に学生の希望により、演習担当教員と面談を行い許可を得ることによって、クラス編成されます。

## ⑥「専門演習A～D」

プログラム制と連動しており、研究や学問を深めたい学生のために、各々のプログラムに応じた専門演習が開講されています。意欲的に履修してください。

## ⑦有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、合格証明書（コピー不可）を持参の上、履修登録開始日から履修登録訂正最終日（16:30）までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じて単位が認定されます。

授業科目名	単位数	評価	認定基準
会計セミナー（I／II）	2 単位	認定	日商簿記検定3級 全経簿記検定2級（商業簿記） 全商簿記検定2級（商業簿記）
会計セミナー（III）	2 単位	認定	全経簿記検定1級（会計） 全商簿記検定1級（会計）
会計セミナー（IV）	2 単位	認定	全経簿記検定1級（工業簿記） 全商簿記検定1級（原価計算）
会計セミナー（III・IV）	4 単位	認定	日商簿記検定2級（商業簿記、工業簿記）
会計セミナー（I～IV）	8 単位	認定	日商簿記検定1級（商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算） 全経簿記検定上級（商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算）
情報処理A	2 単位	認定	全国商業高等学校協会主催 「ビジネス文書実務検定試験」2級以上 日本商工会議所主催 「日商PC検定試験（文書作成）」2級以上 日本情報処理検定協会主催 「日本語ワープロ検定試験」2級以上
情報処理B	2 単位	認定	全国商業高等学校協会主催 「情報処理検定（ビジネス情報部門）」2級以上 日本商工会議所主催 「日商PC検定試験（データ活用）」2級以上 日本情報処理検定協会主催 「情報処理技能検定試験（表計算とデータベース両方）」 2級以上 全日本情報学習振興協会主催 「パソコン技能検定Ⅱ種試験」2級以上

- 注1. すでに単位認定された科目についての申請は認めません。
2. 全商簿記検定の単位認定は入学前に取得した資格を対象とし、1年次のみ申請できます。会計の単位認定の上限は8単位までです。
3. 全商簿記検定以外の資格については、1年次または資格取得後1年以内に申請しなければなりません。

## ⑧就職活動支援について

経営学部では、就職活動支援として、1年次から3年次にかけて段階的・体系的に就職活動の準備ができるよう、以下の科目群を設置しています。

科 目 名	配当年次	内 容
ビジネススペーシックⅠ	1年春	筆記試験対策基礎（言語・計算）
キャリアデザインⅠ	1年春	キャリアデザインの考え方・手法
ビジネススペーシックⅡ	1年秋	筆記試験対策基礎（言語・計算）
キャリアデザインⅡ	1年秋	ライフプラン、自己分析
ビジネス教養Ⅰ	2年秋	筆記試験対策
ビジネス教養Ⅱ	3年春	筆記試験対策
ビジネス教養Ⅲ	3年秋	筆記試験対策

これらの科目群は、学生自身の志望する進路実現に直結するコンテンツですので、単位修得を主目的とせず、就職活動準備として主体的に参加するようしてください。



# プログラム制

---

カリキュラムは基本となる4つの専門コア領域の科目と1年次から開講する少人数制ゼミを中心構成されています。2年次春学期からは、さまざまな職業を意識した「特別プログラム」により、卒業後の夢を実現させるために積極的なサポートをおこないます。一人ひとりの「望み」の達成と社会で即戦力として活躍できるよう、人間力アップをめざします。

## (1) 専門コア領域

- ・ビジネス・マネジメント
- ・流通・マーケティング
- ・会計・ファイナンス
- ・法と経済

## (2) 特別プログラム

プログラム制はプログラム担当教員（＝プログラム・マネージャー）が学生を指導します。プログラムは複数の教員が担当し、具体的な進路・資格などにターゲットを絞り、その目標を実現するために学修をすすめていく「キャリア探求型」と、比較的幅広い領域をカバーし、実習や学外研修なども取り入れつつ、基礎的能力ならびに当該分野に対する感覚やマインドを養成していく「キャリア支援型」があります。

### ①起業・経営者プログラム

起業や経営に必要な知識を養うことはもちろん、企業を診断できる知識を修得し、経営コンサルティングのスキル修得もめざします。

### ②会計・金融プログラム

銀行・信用金庫や証券会社などへの就職を希望する人や、簿記会計資格取得をめざす人のための専門プログラムです。

### ③グローバルキャリアプログラム

世界に羽ばたく企業で活躍する人材を養成します。留学プログラムへの参加やグローバルマインドの修得をめざします。

### ④公務員・地域政策

政策分析を通じて、自治体や警察、消防など、公務員に求められる政策立案能力の修得をめざします。

#### **⑤スポーツキャリアプログラム**

さまざまなスポーツマインドやライフスキルなどについて学び、クラブ活動を通して実践を繰り返し、身につけます。

#### **⑥観光・フードプログラム**

観光や食品に関する商品開発や販売促進などのプランニング、さらには、それらの具現化へ取り組むことによってマーケティングの知識を実践的に修得していきます。

# 卒業要件

東海学園大学経営学部を卒業するためには、4年以上在学し、次の表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

## ▼経営学部経営学科（M120生）

科目群	授業科目区分	④各科目区分において卒業に必要な修得単位数	⑤各群において卒業に必要な修得単位数	⑥卒業に必要な修得単位数
全学共通科目群	ともいき人間教育	必修5単位	25単位以上	合計で124単位以上
	ともいき教養教育			
	ともいき実践教育			
	健康・スポーツ			
	キャリア	必修4単位		
	情報	必修2単位		
	外国語	必修6単位		
	日本語			
	人文			
	社会			
専門科目群	自然			
	日本文化			
	基礎科目	必修8単位	12単位以上	
	経営			
	流通・マーケティング			
	会計			
	経済・金融			
	法			
	経営			
	流通・マーケティング			
	会計			
	経済・金融			
	法			
応用科目	経営	必修4単位を含め8単位以上注1		※卒業要件に含まれません
	会計・金融			
	情報			
	グローバルコミュニケーション			
	スポーツ			
	教職教科専門科目			
演習科目群		必修16単位	16単位以上	※卒業要件に含まれません
免許・資格関連科目群				

注1：ビジネス教養I・ビジネス教養II・ビジネス教養IIIより4単位以上

- ①経営学部の教育課程は、全学共通科目群、専門科目群、演習科目群および免許・資格関連科目群によって構成されています。各科目群の中にはそれぞれ授業科目区分があり、さらにその区分の中に各科目が配置されています。
- ②卒業するためには、上記の表の④⑤⑥すべての単位数条件を満たす必要があります。修得が必

要な科目の詳細については、開講科目一覧表で確認してください。

③「免許・資格関連科目群」の単位は卒業要件には含まれません。

④1年間で履修登録できる単位数の上限は49単位です（「免許・資格関連科目群」は除く）。

⑤1年生のうちから卒業後の目標とする職業との関連を考慮し、スチューデントスキル担当教員や演習担当教員のアドバイスをもとに、きちんと履修計画を立てて履修登録をしてください。

## 標準修得単位数

各学年終了時までに修得することが望ましい単位数の目標は以下の通りです。

以下のものはあくまで目安ですから、この単位数に満たなくても次の学年に進むことはできます。ただし、第4学年終了時までには124単位以上が必要です。無理なく卒業できるように、各学年終了時にこの程度の単位数は修得するようにしてください。

第1学年終了時：35単位以上

第2学年終了時（2年間の合計）：70単位以上

第3学年終了時（3年間の合計）：100単位以上

第4学年終了時（4年間の合計）：最低124単位以上

\*上記の数値は各学年終了時における標準修得単位数です。この数値以上の単位修得をめざしてください。

\*卒業には、合計の単位数だけではなく、必修科目が修得されていること、各科目区分ごとに決められた単位数が満たされていることが条件になります。

(注) 就職活動等で必要な卒業見込証明書は、3学年終了時に90単位以上修得している学生に限り発行されます。

# 開講科目一覧表

《表の見方》 「形態」欄：L = 「講義」 P = 「実験」「実習」「実技」等 S = 「演習」

## ▼経営学部経営学科 (M120生)

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
全 学	人と間も教い育き	共生人間論 I(ブッダと法然)	L	1	2		必修 5 単位
		共生人間論 II	L	3	2		
		共生人間論実習	P	2	1		
	ともいき教養教育	持続可能な社会(SDGs)と共生	L	1	2		
		自然環境と共生	L	1	2		
		生物多様性と共生	L	1	2		
		多文化共生	L	2	2		
		市民社会と共生	L	3	2		
		国際事情と共生	L	3	2		
	ともいき実践教育	地域社会と共生 A	P	1	1		
		地域社会と共生 B	P	2	2		
		海外文化研修 A	P	1	1		
		海外文化研修 B	P	1	2		
		海外文化研修 C	P	1	4		
		海外文化研修 D	P	1	6		
通 科	健康・スポーツ	健 康 と 運 動	L	1	2		必修 4 単位
		ス ポ ー ツ(バドミントン)	P	1	1		
		ス ポ ー ツ(テニス)	P	1	1		
		ス ポ ー ツ(バスケットボール)	P	1	1		
		ス ポ ー ツ(バレーボール)	P	1	1		
		ス ポ ー ツ(サッカー)	P	1	1		
		ス ポ ー ツ(ソフトボール)	P	1	1		
		ス ポ ー ツ(ゴルフ)	P	1	1		
		ス ポ ー ツ(エアロビクス)					
		ス ポ ー ツ(アクアビクス)					
群	キャリア	キャリアデザイン I	P	1	2		必修 4 単位
		キャリアデザイン II	P	1	2		
	情報	情報リテラシー A	P	1	1		必修 2 単位
		情報リテラシー B	P	1	1		
	外 国 語	総合英語 I	L	1	1		必修 6 単位
		総合英語 II	L	1	1		
		総合英語 III	L	2	1		
		英会話 I	P	1	1		
		英会話 II	P	1	1		
		英会話 III	P	2	1		

は非開講科目です。

授業科目区分	授業科目的名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
全 学	外 国 語	中 国 語 I	P	2		1	
		中 国 語 II	P	2		1	
		韓 国 語 I	P	2		1	
		韓 国 語 II	P	2		1	
		フ ラ ン ス 語 I	P	2		1	
		フ ラ ン ス 語 II	P	2		1	
		ポ ル ト ガ ル 語 I	P	2		1	
		ポ ル ト ガ ル 語 II	P	2		1	
		英 語 リ ー デ ィ ン グ	P	3		1	
		英 語 ラ イ テ ィ ン グ	P	2		1	
共 通	日本 語	英語ディスカッション	P	3		1	
		日本語表現法A（音声）	P	1		2	
科 目	人 文	日本語表現法B（文章）	P	1		2	
		哲 学 の 基 礎	L	1		2	
		倫 理 学 の 基 礎	L	3		2	
		心 の メ カ ニ ズ ム	L	1		2	
		日 本 の 歴 史	L	1		2	
		世 界 の 歴 史	L	1		2	
		日 本 の 文 学	L	1		2	
	社 会	外 国 の 文 学	L	2		2	
		憲 法 と 基 本 権	L	1		2	
		社 会 生 活 と 法	L	2		2	
群	自 然	暮 ら し と 経 済	L	1		2	
		現 代 社 会 と 生 活	L	1		2	
		社 会 福 祉 学 の 基 礎	L	1		2	
		生 活 と 環 境	L	1		2	
	日本 文 化	生 活 と 化 学	L	1		2	
		生 命 の 科 学	L	1		2	
		数 学 入 門	L	1		2	
	日本 文 化	日 本 文 化 論	L	1		2	
		日 本 の 文 化 （書 道）	P	1		1	
		日 本 の 文 化 （華 道）	P	1		1	
		日 本 の 文 化 （舞 踊）	P	1		1	
		日 本 の 文 化 （陶 芸）	P	1		1	

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目	基礎科目	経営学入門	L	1	2		必修8単位
		会計学入門	L	1	2		
		経済学入門	L	1	2		
		経営学総論	L	1	2		
専門科目	経営基幹科目	経営管理論	L	2		2	選択必修12単位以上
		企業論	L	2		2	
		経営戦略論	L	3		2	
		経営組織論	L	3		2	
	流通・マーケティング	マーケティング論	L	2		2	
		マーチャンダイジング論	L	2		2	
		マーケティングリサーチ	L	2		2	
		流通システム論	L	3		2	
	会計科目	簿記原理	L	1		2	
		会計原理	L	2		2	
		財務会計論	L	2		2	
		管理会計論	L	3		2	
	経済・金融	経済学(国際経済を含む)	L	1		2	
		マイクロ経済学Ⅰ	L	2		2	
		マイクロ経済学Ⅱ	L	2		2	
		マクロ経済学Ⅰ	L	2		2	
		マクロ経済学Ⅱ	L	2		2	
	法律	民法Ⅰ(総則・物権)	L	2		2	
		民法Ⅱ(債権)	L	2		2	
		会社法	L	3		2	
群衆科目	経営開拓科目	経営史	L	2		2	
		人的資源管理論	L	2		2	
		組織行動論	L	2		2	
		財務管理論	L	3		2	
		生産システム論	L	3		2	
		経営情報論	L	2		2	
		経営情報システム論	L	2		2	
		中小企業論	L	2		2	
		ベンチャー企業論	L	2		2	
		国際経営論	L	3		2	
		公共マネジメント論	L	2		2	

授業科目区分	授業科目的名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目群	展開会計	消費者問題	L	2		2	
		マーケティング戦略	L	2		2	
		販売店舗管理論	L	3		2	
		ビジネスデータ分析	P	3		2	
		広告論	L	3		2	
	科目	デジタルマーケティング	L	3		2	
		財務諸表論 I	L	2		2	
		財務諸表論 II	L	2		2	
		工業簿記	L	2		2	
		原価計算論	L	2		2	
	法律	会計学講義 I	L	3		2	
		会計学講義 II	L	3		2	
		経済政策	L	3		2	
		財政学	L	3		2	
		金融機関論	L	3		2	
	科目	金融論	L	3		2	
		証券論	L	3		2	
		税法 I	L	2		2	
		税法 II	L	2		2	
		行政法	L	3		2	
	応用科目群	労働法	L	3		2	
		ビジネスベーシック I	P	1	2		必修4単位
		ビジネスベーシック II	P	1	2		
		ビジネス教養 I	P	2		2	選択必修4単位以上
		ビジネス教養 II	P	3		2	
		ビジネス教養 III	P	3		2	
		経営診断講座 I	P	1		2	
		経営診断講座 II	P	2		2	
		経営診断講座 III	P	2		2	
		経営診断講座 IV	P	3		2	
		経営診断講座 V	P	3		2	
		経営診断講座 VI	P	4		2	
		課題探究 A	L	2		2	
		課題探究 B	L	2		2	
		課題探究 C	L	3		2	
		課題探究 D	L	3		2	
		地域連携 A	P	2		1	
		地域連携 B	P	2		1	
		地域連携 C	P	3		1	
		地域連携 D	P	3		1	

授業科目区分	授業科目的名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目群	会計・金融応用	会計セミナーI	P	1		2	週2回
		会計セミナーII	P	1		2	
		会計セミナーIII	P	2		2	
		会計セミナーIV	P	2		2	
		金融セミナーI	P	2		2	週2回
		金融セミナーII	P	2		2	
	情報	情報処理A	P	1		2	Word資格対策、週2回
		情報処理B	P	1		2	
		情報処理C	P	2		2	Excel資格対策、週2回 PowerPoint資格対策、週2回
		情報ネットワーク演習	P	3		2	
	グローバルコミュニケーション	英語コミュニケーション演習A (スピーキング)	P	2		2	
		英語コミュニケーション演習B (ライティング)	P	3		2	
		検定英語(TOEIC)I	P	2		2	
		検定英語(TOEIC)II	P	3		2	
		検定英語(TOEIC)III	P	3		2	
	スポーツ目	スポーツ社会学	L	2		2	
		スポーツ経営学	L	2		2	
		スポーツマーケティング	L	3		2	
		トレーニング科学	L	2		2	
		スポーツ指導論	L	2		2	
		発育発達論	L	3		2	
		トレーニング実習	P	3		1	
	教職教科専門科目	社会学	L	1		2	
		地誌	L	2		2	
		法律学(国際法を含む)	L	2		2	
		政治学(国際政治を含む)	L	3		2	
		自然地理学	L	3		2	
		人文地理学	L	3		2	

授業科目区分		授業科目的名称	形態	開講年次	単位数			備考
					必修	選択	自由	
授業科目群	演習科目群	スチューデントスキル	S	1	2			必修16単位
		基礎演習	S	1	2			
		総合演習 I	S	2	2			
		総合演習 II	S	2	2			
		総合演習 III	S	3	2			
		総合演習 IV	S	3	2			
		総合演習 V	S	4	2			
		卒業研究	S	4	2			
		専門演習 A	P	2		2		
		専門演習 B	P	2		2		
		専門演習 C	P	3		2		
		専門演習 D	P	3		2		
		インターンシップ研究	P	2		2		
		インターンシップ実習	P	2		1		
		海外研修 A	P	2		1		
		海外研修 B	P	2		2		
科目の概要	資格関連科目群	教育原理	L	1			2	
		教職概論	L	1			2	
		教育制度論	L	2			2	
		教育心理学	L	2			2	
		特別支援教育	L	2			1	
		教育課程論	L	2			2	
		道徳理論と指導法	L	3			2	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	L	2			2	
		教育方法・技術論	L	2			2	
		生徒指導論（進路指導を含む）	L	3			2	
		教育相談	L	2			2	
		教育実習指導〔中・高〕	P	3~4			1	
		教育実習〔中学校〕	P	4			4	
		教育実習〔高校〕	P	4			2	
		教職実践演習〔中・高〕	P	4			2	
		社会科・公民科指導法 I	L	2			2	
		社会科・公民科指導法 II	L	2			2	
		社会科・公民科指導法 III	L	3			2	
		社会科・公民科指導法 IV	L	3			2	
		商業科指導法 I	L	3			2	
		商業科指導法 II	L	3			2	
		職業指導 I	L	2			2	
		職業指導 II	L	2			2	